

◆ 今週のコメント

- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、1.10(45例)で、先週より増加しています。依然として過去5年平均値を上回っています。年齢階級別では、3歳が22.2%(10例)と最も多く、3～5歳が55.6%(25例)を占めています。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例あり、第24週から連続で報告があります。本年の累積報告数は25例で、10歳代が12例、20歳代が7例、30歳代が3例、50歳代が2例、70歳代が1例となっています。血清型別では、O157が22例、O26が1例、O111が1例、型不明が1例となっています。
- ・ マラリア(三日熱)の報告が1例(女、40歳代)あり、推定感染地域はインドです。本年3例目の報告であり、平成11年以降の年間報告数は、平成14年の4例が最も多く、その他の年は2例以下です。
- ・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、0.32(13例)で、先週の3倍以上となり、過去5年平均値を上回っています。年齢階級別では、1歳～5歳が76.9%(10例)を占めています。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成22年4月から6月までに、新たにAIDS患者(2例)及びHIV感染者(3例)の報告があり、平成22年の累積報告数は13例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 3例, 肺外結核 1例, 潜在性結核感染者 1例), (喀痰塗抹陽性 2例)
【1月以降の累積報告数 218例(肺結核 140例, 肺外結核 54例, 潜在性結核感染者 24例), (喀痰塗抹陽性 61例)】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 25例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 四類:マラリア(三日熱) 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.27	93
	② 流行性耳下腺炎	1.10	45
	③ 手足口病	0.51	21
	④ 水痘	0.37	15
	⑤ 伝染性紅斑	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	1.20	12

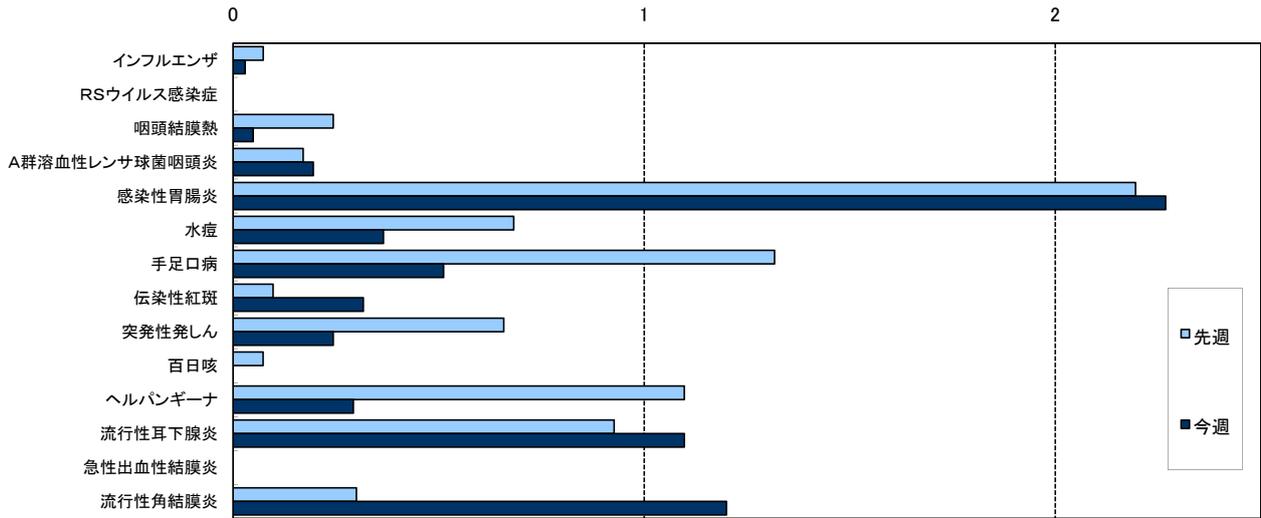
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

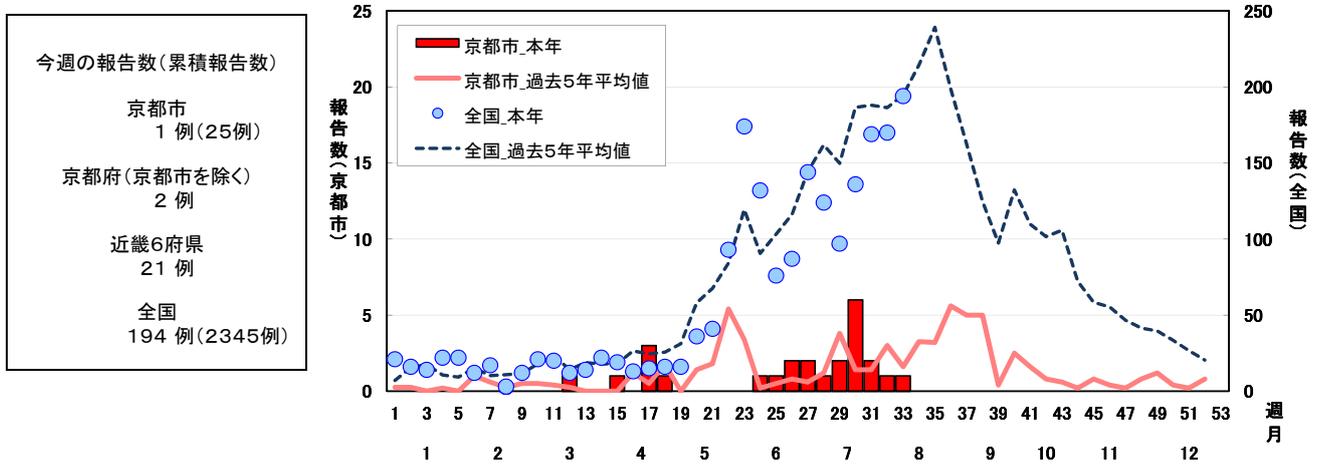
(注)京都市のデータは、平成22年8月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第33週)と先週(第32週)の定点当たり報告数の比較



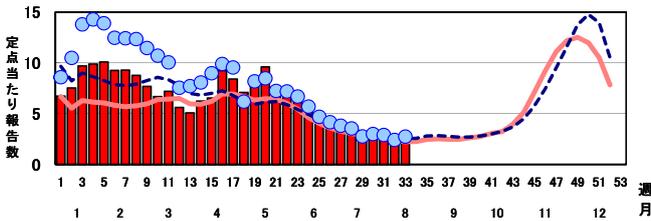
2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移



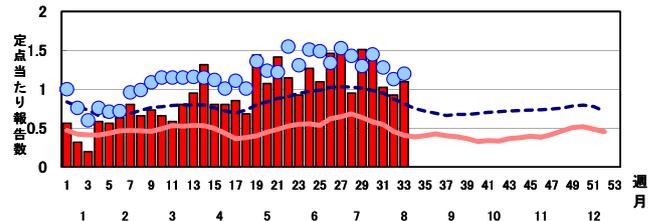
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

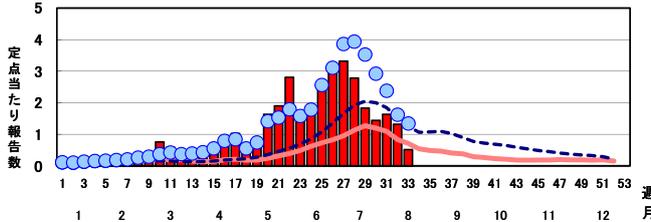
1 感染性胃腸炎



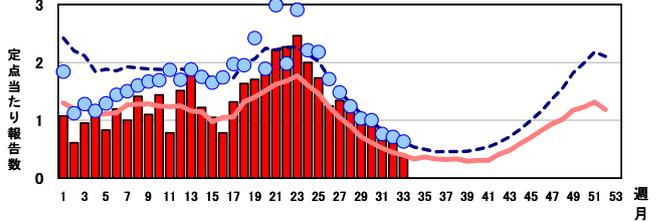
2 流行性耳下腺炎



3 手足口病

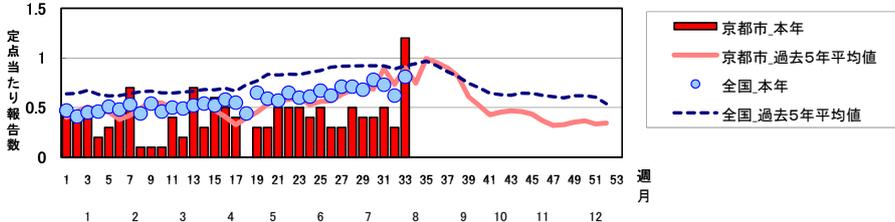


4 水痘



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第33週(8月16日～8月22日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成22年4月から6月末までの報告数は5例で、AIDS患者2例、HIV感染者3例です。すべて男性で、年齢階級別では、AIDS患者は30歳代及び40歳代が各1例、HIV感染者は20歳代、30歳代及び40歳代が各1例です。推定感染経路は、すべて性行為感染(同性間4例、不明1例)で、推定感染地域は、すべて国内です。

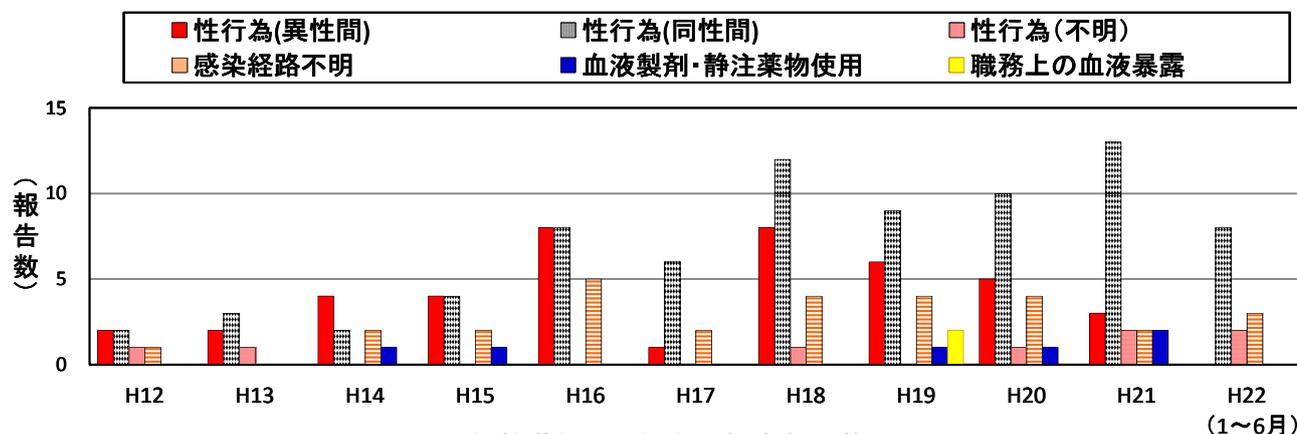
平成22年1月から6月末までの、AIDS患者及びHIV感染者を合わせた後天性免疫不全症候群の累積報告数は13例で、すべて男性です。推定感染経路は、性行為感染が10例、不明が3例となっています。

平成12年以降の累積報告数は165例で、性別は、男性152例(92.1%)、女性13例(7.9%)となっています。推定感染経路については、性行為感染が128例で、後天性免疫不全症候群全体(165例)の77.6%を占めています。中でも、同性間の性行為感染が77例で最も多く、全体の46.7%を占めています。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年 (1月～6月)	(13)	(4)	(9)	(13)	(0)
総計	165	51	114	152	13

推定感染経路別 年次別報告数の推移



年齢階級別 年次別報告数の推移

